

和の光

宝塚市立西谷中学校



■フジバカマが育っています（令和6年度卒業生）



4月19日撮影



5月28日撮影

令和6年度の卒業生（現在の高校1年生）が校庭の花壇に植えた「フジバカマ」が新しい芽を出して成長しています。寒い西谷の冬を乗り越えて、春の到来と共に芽を出し、太陽の日差しを受けて緑色の葉をしっかりと茂らせています。少し話が変わりますが、先日ある高校に進学した西谷中の卒業生から1通の手紙が届きました。その中に「これまで中学校生活を支えてくださり、本当に有難うございました。先生のおかげで全日制の学校に通えていると思います。今はまだ始まったばかりですが、もう友達ができました。運動会や夏祭りも行くとと思うので、その時に成長した自分を見るのを楽しみにしておいてください。」と書かれていました。

この手紙を読んで本当に嬉しく思いました。西谷中を卒業した19名の生徒たちがそれぞれの進学先で、この「フジバカマ」のように新たな芽を出し、たくさんの花を咲かせて大きく成長してくれることを願っています。ちなみにこの「フジバカマ」は秋ごろに花を咲かせ、うまくいけばその花に「アサギマダラ」という蝶がやってくるそうです。西谷中の花壇に「フジバカマ」の花が咲き、たくさんの「アサギマダラ」が飛び交う姿を卒業生のみなさんにぜひとも見てもらいたいと思います。

校長 筒井啓介

省略

フジバカマの花

アサギマダラ



アサギマダラ プロジェクトの看板

■「英検対策講座」を実施しています



放課後の教室を覗くと、何やら机を輪にしてみんなが勉強をしていました。実はこれ、英語科の担当である図師先生の「西谷中のみんなに少しでも英語に興味を持ってもらいたい」「英語検定を受検して英語に自信を持ってもらいたい」といった思いから、放課後に「英検対策講座」を開くことになりました。普段の英語の授業とは違って「英検を受けてみたい」という志を持った生徒が自主的に集まっています。

しっかりと学んで、各自が目標とするレベルの検定に合格することを心から応援しています。

（5月2日 放課後）

